

新社長に聞く



川岸工業  
清時 康夫氏

▽清時康夫(きよとき・やすお)氏=1979年丸紅入社、2011年川岸工業社外取締役、18年伊藤忠丸紅住商テクノスチール取締役兼副社長執行役員建築・鉄構部門長、20年4月伊藤忠丸紅住商テクノスチール顧問、10月ヤマックス顧問、22年4月川岸工業顧問、12月常務取締役東京支店長。23年12月から現職。好きな言葉は「為さざる罪を知る」。週末はウォーキングをたしなむ。56年11月23日生まれ、山口県出身。

川原工業は昨年12月21日付で、清時康夫社長が就任した。需要低迷やコスト上昇、2024年問題など厳しい事業環境が続く状況下、清時社長に足元の認識と今後の見通し、戦略などを聞いて聞いた。

改めて説明した。先を見越し受注活動をして山積みの平準化に努めても、外部要因でたやすくその山が崩れる。そして、その建て直しに時間と労力がかかるようだ局面が何度もあった。

「当社に関する話題では、社員がまじめで、技術力もあるので、とても伸び代

改めて説明した。先を見越し受注活動をして山積みの平準化に努めても、

がある一方  
もつと大き  
を持ち、会  
つとアピー  
ば、さらに  
ると思つた

、社員個々が  
な夢や向上心  
社も社会にも  
ールしていは  
良い組織にな

00万円、  
億円、純利  
半期実績は  
8億950  
円、経常利

経常利益が16億円で  
益が11億円で  
は売上高が12  
00万円、當  
億3300万  
益が10億90

ざまな業界  
保が難しく  
「一つは

界で労働力の確保が難くなっている。

「確固め」に  
の目標数値  
とともに、  
整備・拡充  
固めを行  
る。当社は

に定め、等身  
子を設定する

動の発表  
る。こう  
社員のモ  
高め、技  
なげてい  
今

会を開催して  
した取り組み  
チベーション  
術力アップに  
る」

計 ついでに なる企業  
つを 振り向ける  
中計の中  
いう意図  
ググル

価値の向上に向  
のように成長し  
るか、みんなで  
で議論しようと  
の下、ワーキン  
プを設立した。

## 社員主導型に意識改革

設備投資は行つ  
去年は、柱大組  
接ロボット、オ  
ラーやショット  
高・主重機備

社員から極的に採用され、  
「経営計画」による「立派な人材」の育成が実現する。

のアイデアも積用する。

長投資と分けて成る。4年前に第  
一回の設備投資を行なったが、その後も

り、成長していく。  
第一工場の新設とい  
う投資は終え  
て、も継続的に  
描いて、で投資を  
い

戦略をきちんと実行し、その中で行つていきた

身大  
ると  
る。こうした面  
の社員のモチベー  
高め、技術力で  
なげている」  
——今後の路  
画については。  
「投資は定期  
貯蓄に創  
りを迎